



(市議会ホームページ <http://www.city.kishiwada.osaka.jp/gikai/>)

第1回  
定例会

# 岸和田再生に向けた 20年度予算案を可決

～議会のさらなる透明化に向け 政務調査費の領収書を義務化～

## 定例会の概要

2月26日～3月21日

第1回定例会では、平成20年度岸和田市一般会計予算を始めとする新年度関連の議案や、副市長の人事案件など51件が市長から提案され、原案のとおり可決しました。  
議員からは、政務調査費に関する領収書の添付を義務付ける条例の一部改正案や意見書など5件を提案し、可決しました。

今定例会では、まず、19年度補正予算など10件の議案が市長から提案され、各常任委員会に審査を付託しました。  
27日～29日に開かれた各常任委員会では、付託された議案の審査を行いました。3月4日には各常任委員長から審査結果の報告を受け、満場一致で可決しました。続いて、20年度の市政運営の大綱となる新年度予算や関連する36件の議案を議題とし、市長から施政方針が表明されました。  
7日、10日には各会派の代表者による総括質問(一面下段と二面に掲載)を行った後、予算特別委員会を設置し、新年度予算など関連議案の審査を付託しました。  
11日～18日に開かれた予算特別委員会では、社会的な弱者に配慮しているか、効率よく予算編成されているかなどに主眼を置き、詳細な審査を行いました。  
21日には予算特別委員長から審査結果の報告(一面中段参照)を受け、討論を行いました。

### 反対討論の要旨

「保育所や幼稚園の保育料の引き上げなど、再生プランを前提とした予算には賛成できない」

### 賛成討論の要旨

「再生プランの市民に対する十分な説明と理解を得ることを前提に、行財政改革の内容、方向性は間違っていない」

討論の後、起立表決を行った結果、新年度予算など賛成多数で可決しました。  
続いて、文教民生常任委員長から請願第1号「私立幼稚園就園補助金撤廃の見直しについて」の審査結果の報告を受け、起立表決を行った結果、賛成少数で不採択となりました。  
その後、副市長、教育委員、監査委員などの人事案件が市長から提案され、それぞれ同意しました。  
議員からは、議案5件(一面中段参照)を提案し、満場一致で可決しました。

20年度予算などには、妊婦健診費用の公費負担の拡充、小・中学校耐震改修事業の実施、東岸和田駅東地区防災街区整備事業の推進など、市民福祉の向上や将来のまちづくりに向けた取り組みが認められるため、賛成多数で可決した。  
なお、審査過程で次のような意見・要望があった。  
▽産婦人科を始めとする医師や看護師の確保を  
▽公的責任を後退させる民営化、民間委託の中止を  
▽市長直轄の滞納処理部署を設置し、歳入の確保を  
▽学級崩壊など学校で対処できない問題は、教育委員会ですら対処を  
▽質の高い行政経営のため、職員の高気高揚を  
▽産業高等学校のさらなる発展のため、具体的経営方針の策定を  
▽総合計画に替わる真の岸

### 【予算特別委員】

- ◎井上孝三郎
- ◎澤榮一
- ◎米貴志
- ◎池内一志
- ◎池田啓子
- ◎大松政隆
- ◎森松悦司
- ◎稲村悦治
- ◎西村芳徳
- ◎中井良介
- ◎石田亀太郎
- ◎西田昌

◎委員長  
◎副委員長

## 予算特別委員長報告(要旨)

和再生のビジョンを  
▽きしわだ行財政再生プランの達成には、より一層の説明責任を  
▽自助、共助、公助の仕組み作りを行い、災害に強いまちづくりを  
▽より一層、市民病院でのIT化を  
▽市民の役割分担を推進し進め、民営化などの推進を

議員から  
5件の議案を提案  
議会の透明性を高めるため、政務調査費の使途について、収支報告書に領収書の添付を義務付ける条例や議員が途中で辞職する際などに、その月の報酬を日割りとする条例の改正案2件を提案し、満場一致で可決しました。  
また、「食の安全と自給率向上、地域農業の振興を求める意見書」「養護学校新設と養護学級・通級指導教室の増設を求める意見書」「平成20年度大阪府暫定予算案に関する意見書」3件を提案し、満場一致で可決しました。

## 問われる

### 自治体本来の役割

【問】物価の上昇や、公共料金引き上げなど、生活が圧迫されるなか、住民のいのちと暮らしを守る自治体本来の役割が問われている。  
【答】府が財政再建を優先すること、本市に新たな財政負担が生じないよう、市長会を通じて府に強く申し入れ、府の本格予算が明らかになる段階で、本市と

## 総括質問

ここが聞きたい  
新生クラブ  
代表 雪本 清浩

## 迅速な決断と実行で 財政基盤の確立を

その他の質問  
○教育・福祉の充実  
○行財政改革



観光資源として期待される岸和田城と五風荘

【問】本市の財政基盤確立のための取り組みと、今後の施策について聞きたい。  
【答】市税の増収策として、阪南2区への企業誘致や新産業への支援などにより産業の再生を図るとともに、

【問】岸和田城周辺地域の整備については、具体的な方策を聞きたい。  
【答】岸和田城については、ウエディング事業だけでなく、市民交流の場となる市民ギャラリーとして有効活用する。  
五風荘については、歴史文化遺産としての保全・活用はもとより、民間のノウハウも含め、飲食施設としての活用を検討していく。当地域を観光拠点として捉え、貴重な観光資源の有効活用を図るとともに、歴史的まちなみと一体的に整備することの魅力あるまちづくりに取り組む。



次期総合計画策定は、市民とともに

【問】第3次総合計画に基づき策定された各種計画と次期総合計画との整合性について聞きたい。  
【答】次期総合計画は、自治基本条例の理念にのっとり、これまで市民とともに築き上げてきた各種計画を生かしながら、整合性に留意し策定する。

日本共産党  
代表 岸田 厚